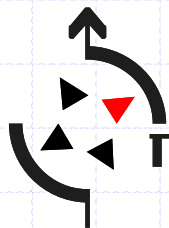


NISC



National Information Security Center

説明資料1

政府におけるセキュリティ対策

内閣官房情報セキュリティセンター

平成23年9月7日

情報セキュリティ政策の枠組みと推進体制

内閣官房を中心に関係省庁も含めた横断的な体制を整備

高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)

本部長 内閣総理大臣
副本部長 内閣特命担当大臣(科学技術政策)
内閣官房長官
総務大臣
経済産業大臣
本部員 本部長及び副本部長以外のすべての国務大臣
民間有識者(8人)

(事務局)

内閣官房IT担当室

室長(官房副長官補(内政))

情報セキュリティ政策会議 (2005年5月30日 IT戦略本部長決定により設置)

議長 内閣官房長官
議長代理 内閣府特命担当大臣(科学技術政策)
構成員 国家公安委員会委員長
総務大臣
経済産業大臣
防衛大臣
民間有識者(6人)

閣僚が参画

CISO等
連絡会議

重要インフラ
専門委員会

技術戦略
専門委員会

普及啓発
人材育成
専門委員会

(事務局)

内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)

センター長(官房副長官補(安危))
副センター長(内閣審議官)2名
内閣参事官 6名
情報セキュリティ補佐官(アドバイザー)3名



協力

協力
4省庁

警察庁(サイバー犯罪の取締り)

総務省(通信・ネットワーク政策)

経済産業省(情報政策)

防衛省(国の安全保障)

重要インフラ所管省庁

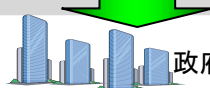
金融庁(金融機関)
総務省(地方公共団体、情報通信)
厚生労働省(医療、水道)
経済産業省(電力、ガス)
国土交通省(鉄道、航空、物流)

その他の関係省庁

その他
文部科学省(セキュリティ教育)等



重要インフラ事業者等



政府機関(各府省庁)



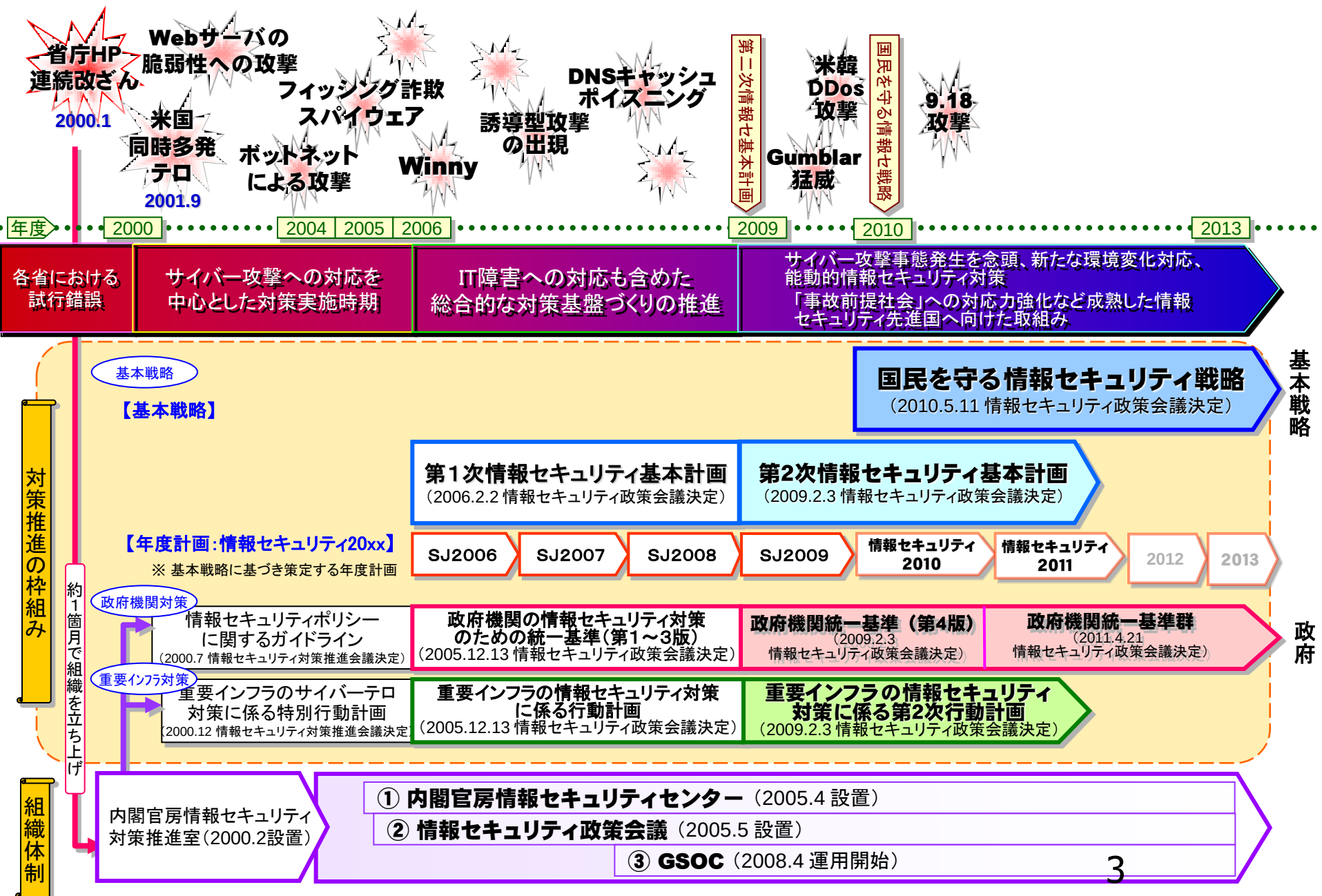
企業

2



個人

内閣官房における情報セキュリティ政策の流れ



情報セキュリティ対策推進会議について

情報セキュリティ政策会議

情報セキュリティ対策推進会議(CISO等連絡会議)

情報セキュリティ対策推進会議を改組(目的及び構成員)
平成22年7月22日 情報セキュリティ政策会議決定

●目的 関係行政機関の最高情報セキュリティ責任者(CISO)等相互の緊密な連携の下、政府機関における情報セキュリティ対策の推進を図る。

●構成員

議長	内閣官房副長官(事務)
副議長	内閣危機管理監
構成員	各府省庁のCISO(官房長クラス)等

●主な検討事項等

- ・統一技術基準の改定
- ・各府省庁の情報セキュリティ報告書の報告等
- ・対策実施状況報告、重点検査等の報告及び評価
- ・政府機関における暗号移行指針の策定及びその実施
- ・最高情報セキュリティアドバイザー等連絡会議の設置・運営
- ・その他政府機関の情報セキュリティ政策に係る事項

審議・検討・助言

最高情報セキュリティ・アドバイザー等連絡会議

平成22年12月27日 情報セキュリティ対策推進会議で設置

●目的 情報セキュリティ対策推進会議に対して、専門的な見地から審議、検討、助言等を行うとともに、各府省庁における知識・経験の共有を図る。

●構成員 各府省庁の最高情報セキュリティアドバイザー及び情報セキュリティ対策推進会議に参加する有識者

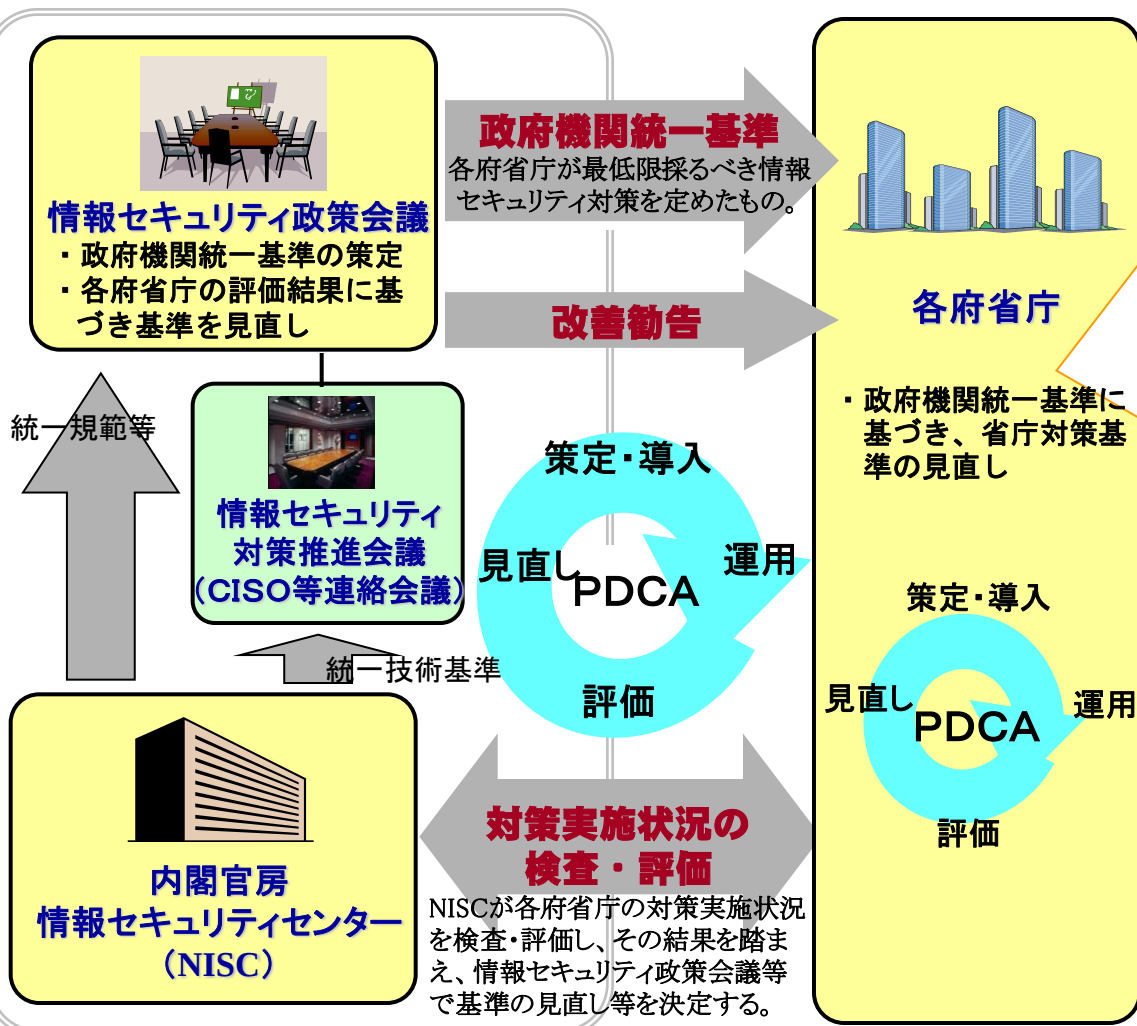
●主な検討事項等

- ・各府省庁が作成した情報セキュリティ報告書についての技術的な評価・助言
- ・政府機関における暗号移行指針に係る技術的な審議、検討、助言
- ・その他、政府機関の情報セキュリティ政策に係る事項の技術的な審議、検討、助言

幹事会

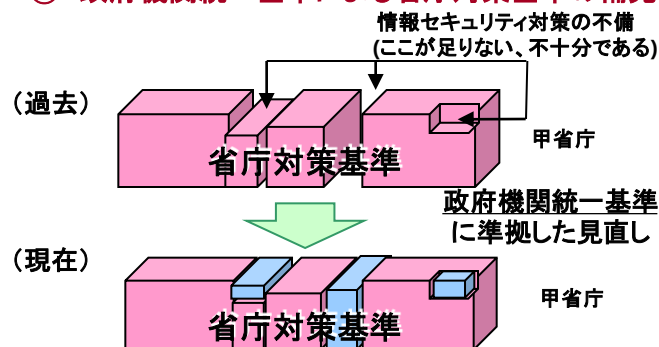
政府機関統一基準の策定・見直し

- 政府機関における情報セキュリティ対策のための統一的な基準を策定し、政府全体の情報セキュリティ水準の向上を図る
- 各政府機関は本基準を踏まえて対策を実施し、NISCが対策実施状況を検査・評価
- その結果に基づき、情報セキュリティ政策会議において基準の見直しを決定

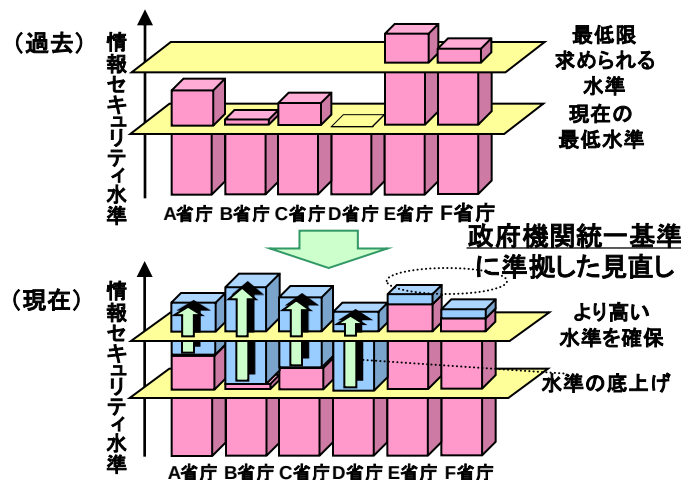


* 対策の平準化・より高い水準への底上げ

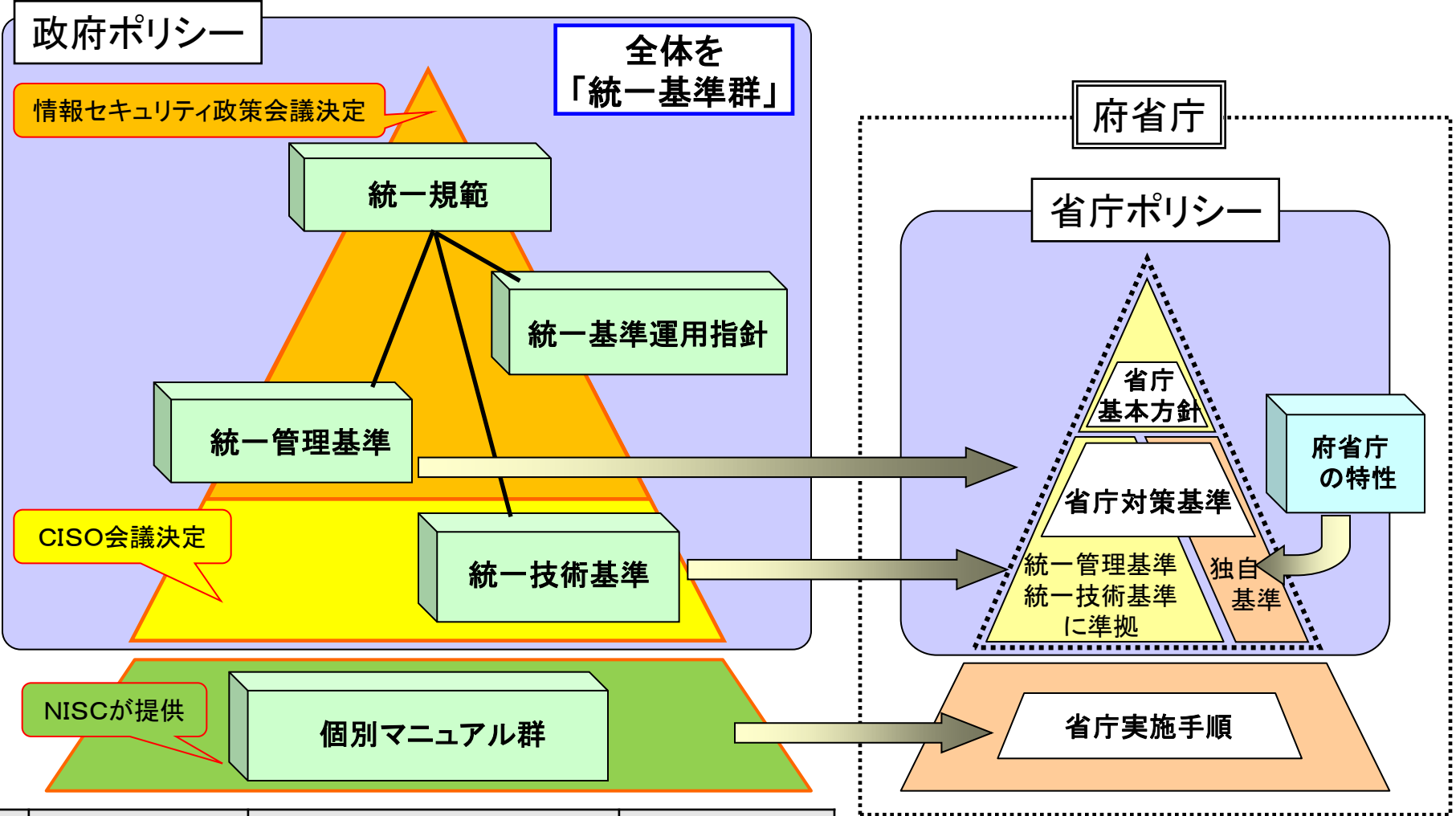
① 政府機関統一基準による省庁対策基準の補完



② 各府省庁の情報セキュリティ水準の向上



政府機関統一基準群と省庁対策基準との関係など



	体系	内容	決定機関
1	統一規格	情報セキュリティ基本方針	政策会議
2	統一基準運用指針	情報セキュリティマネジメントの指針	政策会議
3	統一管理基準	情報セキュリティポリシー（基本編）	政策会議
4	統一技術基準	情報セキュリティポリシー（技術編）	CISO等連絡会議

**府省庁は、省庁ポリシー等に基づき
情報セキュリティ対策を実施**

政府機関統一基準群の全体構成

◆統一規範

- (1) 目的及び対象
- (2) 政府機関の情報セキュリティ対策のための基本指針
- (3) 政府機関の情報セキュリティ対策のための基本対策

◆統一基準運用指針

政府機関統一基準及び技術基準の運用の枠組み

- (1) 政府機関統一基準及び技術基準の策定と各府省庁における情報セキュリティポリシーの見直し
- (2) 対策実施手順書の整備の支援
- (3) 対策実施状況の確認と評価に基づくPDCAサイクルの確立

◆統一管理基準

- 第1. 1部 総則
- 第1. 2部 組織と体制の整備
- 第1. 3部 情報についての対策
- 第1. 4部 情報処理についての対策
- 第1. 5部 情報システムについての基本的な対策

◆統一技術基準

- 第2. 1部 総則
- 第2. 2部 セキュリティ要件の明確化に基づく対策
- 第2. 3部 情報システムの構成要素についての対策
- 第2. 4部 個別事項についての対策



内閣官房情報セキュリティセンター
National Information Security Center

検索

(各ページの右上の検索ボックスに入力して検索が可能です)

HOME > 会議 > 情報セキュリティ政策会議

会議

情報セキュリティ政策会議

第33回国代わり閣内閣決定を欠く「情報セキュリティ政策会議」が正式に設置

経典 PDF

第25回「情報セキュリティ政策のための統一管理基準及び政府機関統一技術基準の策定と運用等に関する指針」

平成27年4月21日

報道発表資料 PDF

「政府機関の情報セキュリティ対策の統一管理基準及び政府機関統一技術基準の策定と運用等に関する指針」 PDF

「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一管理基準」 PDF

「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一技術基準」 PDF

- 議事 「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」の改定及び政府機関の情報セキュリティ対策のための統一技術基準」の取組について
- 政府機関の情報セキュリティ対策のための統一規範(案) PDF
- 政府機関の情報セキュリティ対策における政府機関統一管理基準及び政府機関統一技術基準の策定と運用等に関する指針(案) PDF
- 政府機関の情報セキュリティ対策のための統一管理基準(案) PDF
- 政府機関の情報セキュリティ対策のための統一技術基準(案) PDF

HOME

報道発表資料

内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)とは

活動内容

会議

国代わり閣内閣決定を欠く

国代わり閣内閣決定を欠く

国代わり閣内閣決定を欠く

調査研究

主要公表資料

広報活動

関連サイト

関連法令等

リンクと著作権について

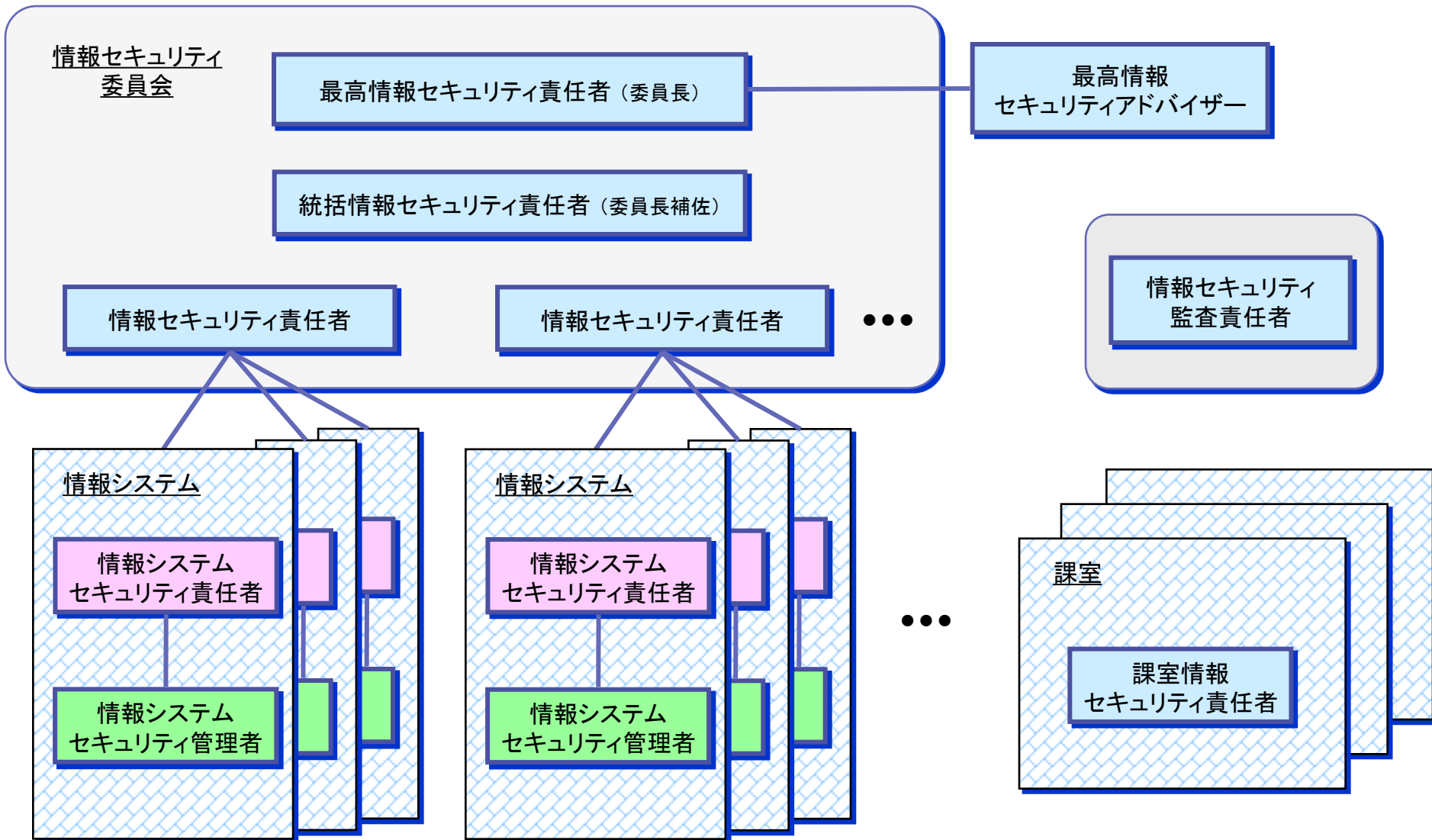
セキュリティ政策会議

- ・統一規範
- ・策定と運用等に関する指針
- ・統一管理基準
- ・統一技術基準
- ・同 各解説書
- ・同関連のファイル掲載
(旧版の統一基準、新旧対照表)
- ・個別マニュアル群

他

情報セキュリティ政策会議の会議資料が掲載されている。
(会議終了後、ほぼ当日中)

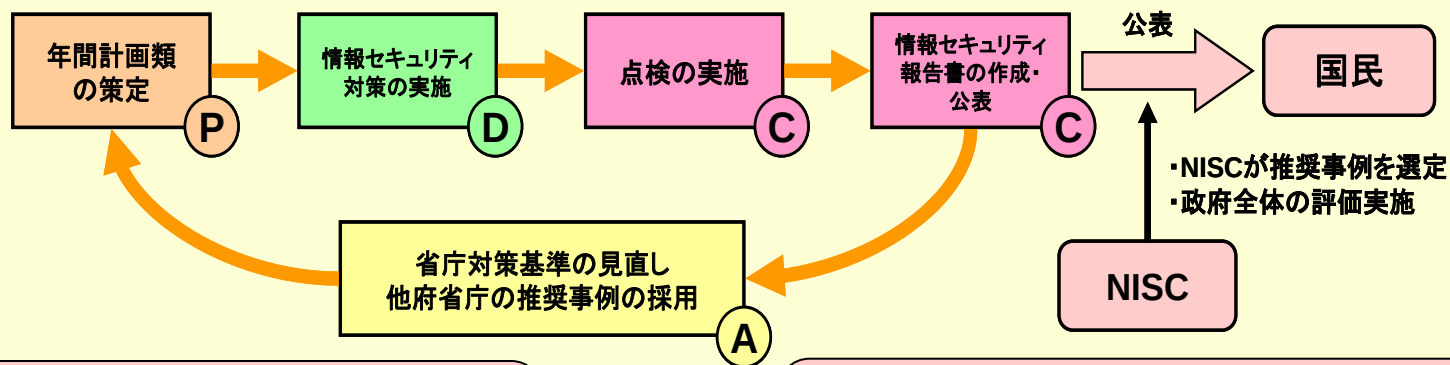
組織・体制イメージ図



情報セキュリティ報告書の概要

■ 情報セキュリティ報告書の目的

各府省庁の最高情報セキュリティ責任者が中心となり、自ら問題意識を持って、自組織の情報セキュリティ対策の取組状況を国民へ公表し、各府省庁の参考となるベストプラクティスを共有するなどの取組を通じて、能動的に情報セキュリティ対策の改善を図る仕組みを各府省庁において実現する。



全府省庁への導入スケジュール

【平成21年度】

- ・ 情報セキュリティ報告書専門委員会において、情報セキュリティ報告書作成のためのガイドラインを検討し、決定。
- ・ 総務省及び経済産業省において、試行的に情報セキュリティ報告書21年度試行版を作成。

【平成22年度】

- ・ 全府省庁において、情報セキュリティ報告書を試行的に作成（公表は任意）。

【平成23年度（予定）】

- ・ 全府省庁において、情報セキュリティ報告書を作成し、公表。

平成22年度の情報セキュリティ報告書について

【実施状況】

1. 4月中に全ての府省庁において、情報セキュリティ報告書案を作成
2. 4月28日に開催された最高情報セキュリティアドバイザー等連絡会議において、各府省庁が作成した報告書案に対する助言及び推奨事例候補を推薦
3. アドバイザー会議による助言を踏まえ、各府省庁において必要な見直しを行った上で平成22年度の報告書として決定
4. 報告書については、5月31日に開催されたCISO等連絡会議において報告
5. 年次報告（評価書）については、7月8日に開催された情報セキュリティ政策会議において報告し、公表

政府機関における情報セキュリティに係る年次報告(平成22年度)の概要

各府省庁
情報セキュリティ報告書

各府省庁のCISOが、省内における年間の情報セキュリティ対策の取組状況等について取りまとめた報告書

CISO等連絡会議に報告
(平成23年5月31日)

平成22年度は、試行的に作成。平成23年度より公表予定

政府機関における情報セキュリティに係る年次報告(平成22年度)

各府省庁の情報セキュリティ報告書をCISO等連絡会議において評価した報告書

CISO等連絡会議にて決定
(平成23年5月31日)

年次報告の概要

年次報告については、平成22年度より公表

国内外における情報セキュリティに関する動向

- サービス不能攻撃等、サイバー攻撃の増加
- 標的型メール攻撃の増加・巧妙化等
- 情報の流出
- 情報システムの障害・事故等の発生
- ネットワーク環境の進化等に伴うリスクの増加
- 東日本大震災に伴う情報システムに関連した事故等の発生

政府機関の取組

- CISO等連絡会議・最高情報セキュリティアドバイザー等連絡会議の設置及び開催
- 情報セキュリティ報告書を試行的に作成
- 政府機関統一基準群の整備
- 公開ウェブサーバに対する脆弱性検査の実施
- 政府機関から発信する電子メールに係るなりすましの防止
- 政府職員に対する教育・意識啓発の推進

各府省庁における対策の実施状況

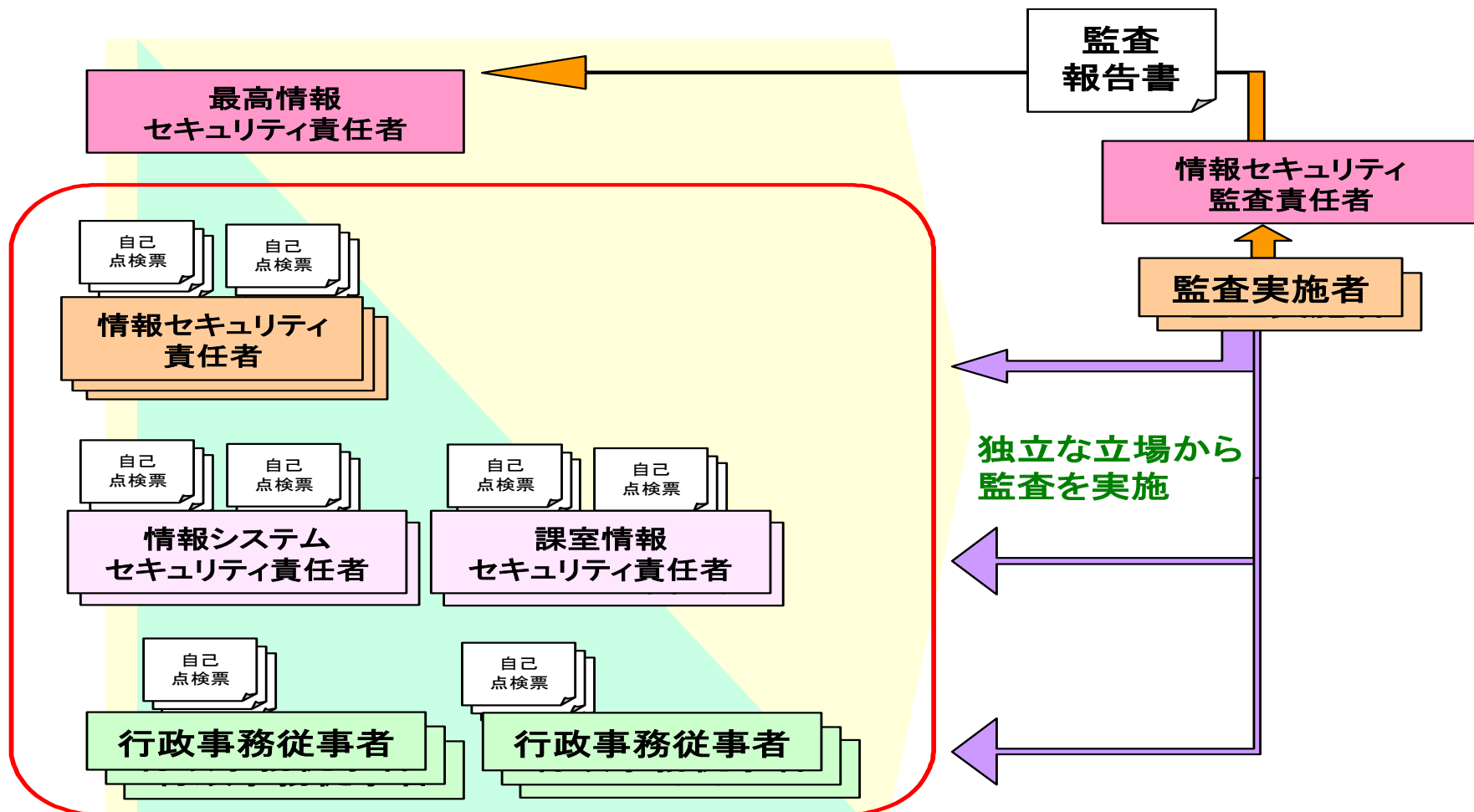
- 政府機関全体の実施率は、98.9%
- 情報の取扱いに関する項目(94%)など、年々改善の努力がなされてきてはいるが、更なる改善が望まれる。

情報セキュリティに関する動向を踏まえた課題

- 東日本大震災等を踏まえた情報システムの業務継続能力の強化
- 標的型メール攻撃への対応
- 新たな技術に対する情報セキュリティ対策の強化
- 安全な暗号利用の促進
- 情報流出防止への取組

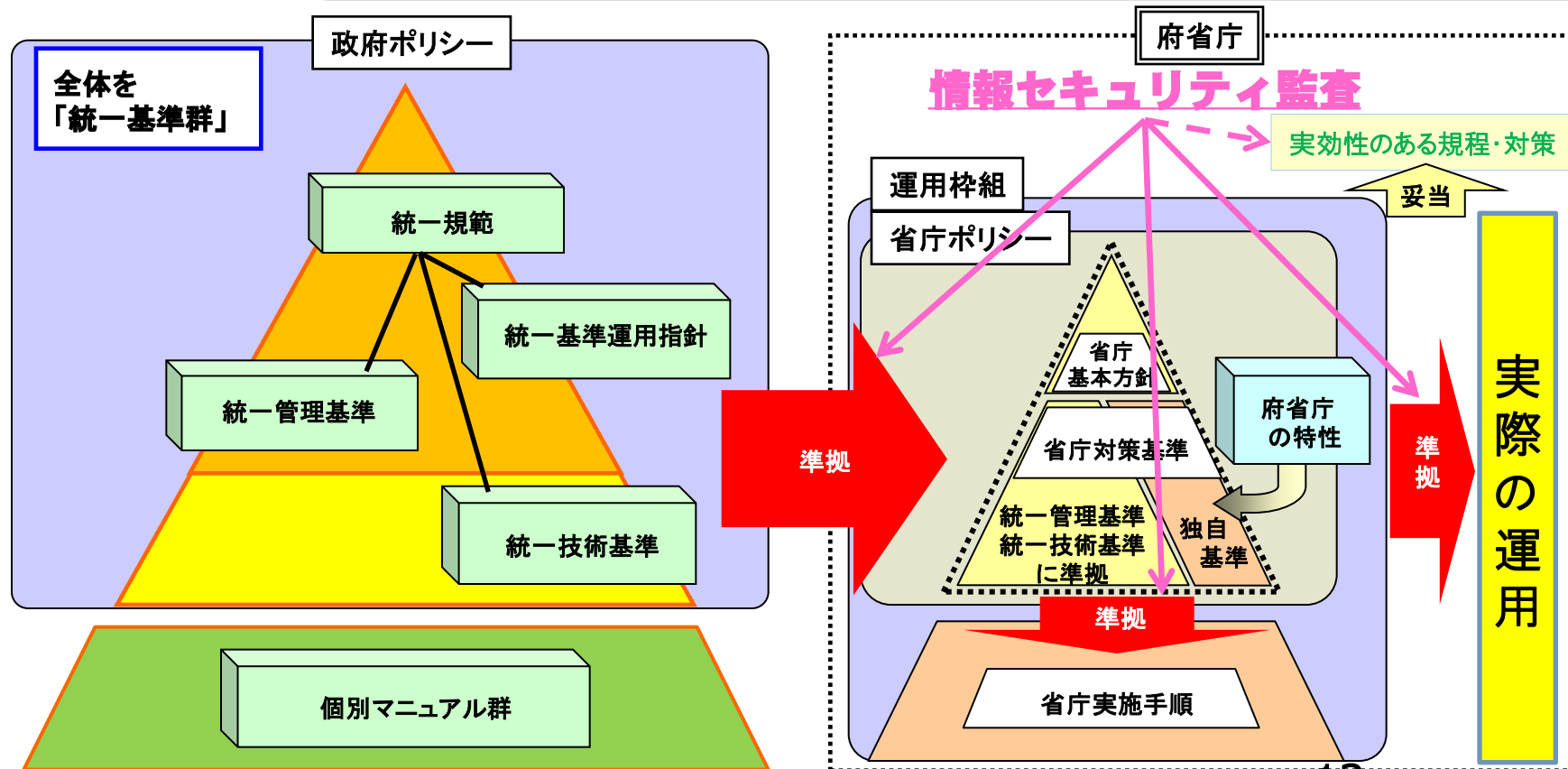
情報セキュリティ監査(監査の概要)

- ◆ 各府省庁は、政府機関統一管理基準 1.2.3.2 情報セキュリティ対策の監査を遵守し、自らのPDCAサイクルを適切に運用することが求められる。



情報セキュリティ監査(監査の目的・位置付け)

必須	準拠性監査	■ 省庁対策基準が政府機関統一基準群に準拠しているか ■ 実施手順が省庁対策基準に準拠しているか ■ 情報セキュリティ対策の運用が情報セキュリティ関係規程に準拠しているか
推奨	妥当性監査	■ 情報セキュリティ関係規程が実効性のあるものになっているか ■ 情報セキュリティ対策が妥当であるか、有効に機能しているか



政府機関の情報セキュリティ対策のための統一規範

(監査)

第十条 各府省庁は、省庁基準が統一規範に準拠し、かつ実際の運用が省庁基準に準拠していることを確認するため、情報セキュリティ監査を行わなければならない。

(情報セキュリティ報告書)

第十一条 各府省庁は、自己点検及び監査の結果を反映した情報セキュリティ報告書を毎年度作成し、公表しなければならない。報告書の構成、細目は別に定める。

2 各府省庁は、作成した情報セキュリティ報告書に基づいて省庁基準を見直し、必要な措置を講じなければならない。